



再登校は、子どもの心により添う取り組みの延長線上にある

夏休み、あれだけリフレッシュしたのに、どうして学校に行けないの？

- ◆ 「いつまで寝ているの。もう起きないと、学校におくれるわよ！」
「どうして学校に行かないの？」
「いつになったら、学校に行くの？」
「夏休み、しっかりリフレッシュしたでしょ・・・」

夏休み明けの朝、不登校の子どもさんのお家では、このような「やりとり」が起こります。

不登校の子どもたちは、夏休みに入ると、しだいに元気を取りもどします。

「この調子なら、2学期からは登校できるようになるかも・・・。」
と、親は期待しますが、なかなか思うようにはいきません。

多くの不登校の子どもたちは、始業式が近づいてくると、・・・
夏休み前のような状態にもどり、結局、学校に行けないのです。

そこで、親は何とかして学校へ行かせようと、いろいろな働きかけをしますが、・・・
学校に行かせるという「形」だけの対応では、子どもは学校へ行きません。行けません。
仮に、子どもが登校したとしても、それは長くは続きません。

わたしの知る範囲で、早目の対応で改善を図ることができる事例は、次の2つです。

- 1 夏休みの宿題をやっていなくて、学校に行かない。行けない。
- 2 夏休み中、生活リズムがくずれ、朝起きるのがつらくて学校に行かない。

学校に行かない、行けない、その背景には「心の問題」が絡んでいる

◆話をもとにもどして、・・・

不登校の子どもたちへの対応として、おさえておくべき重要なことがあります。

それは、・・・

学校に行かない、行けないのは、子どもに何らかの背景や要因が潜んでいるからであり、それらの解決を図っていかなければ、同じことの繰り返しになるということです。

つまり、不登校の改善を図るためには、子どもの「心の問題」の解決が不可欠なのです。

不登校に改善に向けて、大切にしたい2つの視点

◆このようなとき、重要になってくるのが、お父さん、お母さんの存在です。

お父さん、お母さんの関わり方が、子どもの「心の問題」の解決に影響していくからです。

お父さん、お母さんの関わり方に、「問題がある」と言っているのではありません。

子どもさんの不安や悩みの解決を図っていく上で、・・・

お父さんやお母さんからの心のサポートは、心理的にもとても重要な役割を担ってくるということをお伝えしておきたいのです。

では、どのように子どもさんと関わっていくとよいのでしょうか？

今回のレポートでは、特に重要な対応について、2つお伝えしておきたいと思います。

1 安全・安心を感じられる環境づくり

「この家にいると安心できるなあ、リラックスできるなあ。」

と、感じられるような環境づくりを進めていってください。

大人でも、例えば、家族の心配事などの不安や悩みがあると、安心して仕事へ行けません。同じような心理が、子どもにも働きます。

安全・安心を妨げる要因としてよくあるのが、ご両親、家族の不和です。

2 子どもの心に共感すること

保護者の皆さんが中・高校生の頃、自分の不安や悩みを友だちに聞いてもらったことがあると思います。

そのとき、これといった解決方法がなかったとしても、気持ちがスーッと楽になったと思います。

「明日も頑張ろう」という気持ちも湧いてきたと思います。

これが共感です。

共感とは、カウンセリングにおいても、きわめて重視されている心的・情緒的交流です。

人は、このように共感してもらおうと、一歩前へ歩む元気が出てくるものなのです。

子どもの「心の問題」は、数日、数週間したら解決されるというような、簡単な問題ではありません。

- 1 安心・安全を感じられる環境づくりを進めながら、・・・
- 2 子どもの心に共感することを心がけながら、・・・

子どもの心が動き始めるのを見守っていくのです。

最も、回避しなければならないこと

- ◆不登校の対応をあやまると、不登校の問題はこじれてしまいます。子どもの心をさらに追い詰めてしまうことにもなります。

最も、回避しなければならないことは、・・・

子どもが心を病むこと

引きこもってしまうこと

深く悩んで「あってはならない行動」をとってしまうこと

です。

特に、注意が必要なのが、「いじめ」の問題です。

不登校が「いじめ」と関わっているとき、それは、子どもの心に深刻な影響を及ぼします。
ときとして、生命を奪うことさえあります。

子どもは、「いじめ」を受けていても、・・・

そのことを親に話さないという、多くの事実があることを、

親は、常に頭に入れておいて、適切に対処すること忘れてはいけません。

「家の子に限って、そんなことは、・・・」などと構えていては、子どもは守れません。

よりよい取り組みの積み上げが、不登校の改善につながる

◆不登校の子どもたちへの適切な対応について、

新訂版 愛着理論をベースにした「3つのアプローチ」で、具体的にお伝えしています。
やってはいけない不適切な対応についても、お伝えしています。

HP から、ご自由にダウンロードできますので、

どうか、ご家庭での取り組みの参考にしていただきたいと思います。

お父さん、お母さんも、ご心配・ご苦勞などあると思いますが、・・・

子どもさんの成長を信じて、子どもさんとのよりよい関わりを積み上げていってあげてくだ
さい。

いつかきっと、心の元気を回復されていくと思います。

子どもさんの再登校は、そのような取り組みの延長線上にあるのだと、わたしは思います。

文責 西村明倫

一般社団法人日本 TFT 協会診断レベルセラピスト
公益社団法人日本心理学会認定心理士
メンタル心理カウンセラー

◆「クローバー」レポートの読者の皆様へ（お知らせ）

この「クローバー」レポートは、**不登校の改善に向けての「学び合いの場」**として、・・・
毎月1回、定期的に発行しています。

不登校の改善に生かしていただきたい心理学の理論や研究について分かりやすくお伝えします。
また、具体的な事例をもとに、不登校の改善についていっしょに考えていく内容も、随時取り上げていきます。

◆「クローバー」レポートのメールマガジン配信を、ご希望される方は、・・・

右下のQRコードを読み取り、空メール（件名、本文は不要です）を送信してください。

その後、メールマガジン登録用の確認メールが届きますので、・・・

[URL](#) をクリックしてください。以上で、登録が完了です。



直接、空メールを送信して、登録することも可能です。その際には、・・・

reg@counseling-clover.jp へ送信してください。

なお、「受信拒否」の設定になっていると、

「クローバー」からの返信メールが届かない場合がありますので、その際には、・・・

【 [counseling-clover.jp](#) 】を「受信可能」に変更してください。